

飛翔

令和7年

11月号

全国大会in京都特集



文化首都 京都で感じる
“人と心のつながり”



第50回経営者協会青年部会 全国大会 in 京都が10月16、17日の2日間、ホテルグランヴィア京都を中心として開催されました。当日は全国の青年部会から169名が集い、地元京都のメンバーも合わせると227名の盛大な会となりました。

10月16日(木)

【記念式典・記念講演 場所：ホテルグランヴィア京都】

京都経営者協会青年経営者部会による大会が開催され、京都経営者協会 前川会長、京都府の西脇知事をはじめ、来賓の方々をお迎えして式典が執り行われました。

続いて、株式会社堀場製作所 代表取締役会長 兼 グループ CEO の堀場 厚氏による記念講演が行われました。演題は「ターニングポイントにどう行動するか」でした。

堀場氏は、世界各国で事業を展開する中で培った経験をもとに、日本企業が抱える課題や人材育成の重要性について語られました。その中で、「知恵」と「発想力」を備えたとがった人材の育成、自ら考え意見を伝える力、そして情報を自ら取りに行く行動力の大切さを強調されました。



株式会社堀場製作所
代表取締役 兼 CEO 堀場 厚 氏



京都府知事 西脇 隆俊 氏をはじめとした来賓の方々

【懇親会 場所：ホテルグランヴィア京都】

講演後には同ホテルにて懇親会が催されました。

オープニングは、華道家元池坊プロデュース「IKENOBOYS」による華やかなパフォーマンスで幕を開け、伝統文化と現代的な感性が融合したダイナミックな演出に会場が魅了されました。

続いて、お笑い芸人・シャドウ岩橋氏によるステージが行われ、巧みな話術と独自の世界観で笑いを誘い、会場は大きな拍手に包まれました。

さらに、アトラクションとして「県別対抗 利き抹茶対決」が実施され、参加者が香りや味の違いを競い合う企画に、各テーブルから歓声と笑いが起こりました。

フィナーレでは、歌手・荻野まどか氏によるアニソンパフォーマンスが披露され、華やかで迫力のあるステージでした。次回開催地である石川県の紹介が行われ、代表者から地域の魅力や意気込みが語られ、温かな拍手が送られました。

終始、笑いと交流に包まれた温かな雰囲気の中で懇親会は進み、京都らしい“文化と人のつながり”を感じるひとときとなりました。



IKENOBOYS のパフォーマンス



シャドウ岩橋氏によるステージ



「県別対抗 利き抹茶対決」に挑む
佐々木副会長

10月17日(金)

二日目は、記念ゴルフ大会に出場する組と、エクスカーションに参加する組に分かれての実施となりました。

【記念ゴルフ大会 場所：城陽カントリー倶楽部】

京都市城陽市の名門「城陽カントリー倶楽部」にて記念ゴルフ大会が開催されました。関西屈指の格式を誇るクラブであり、当日は絶好の天候に恵まれ、参加者たちは穏やかな雰囲気の中でプレーを満喫しました。美しく整備されたグリーンに挑みながら、参加者同士が親睦を深める充実したひとときとなりました。



【エクスカーション 見学先：妙心寺・天龍寺・嵐山】

エクスカーションに参加した一行は、まず臨済宗妙心寺派大本山の塔頭・退蔵院を訪れ、講話を通じて禅の精神に触れました。凛とした空気の中での座禅は、心を穏やかに整える貴重な時間となりました。

続いて、嵐山の天龍寺へ移動し、法堂の天井に描かれた雲龍図を拝観しました。その後、天龍寺内の精進料理店「節月(しげつ)」にて、旬の素材を生かした料理を味わいました。庭園を彩る紅葉と澄んだ秋空が織りなす風景に、参加者は京都の風情を存分に堪能しました。

文化・自然・食を通して京都の魅力を再発見する一日となり、参加者からは「心が整う特別な体験だった」との声が多く寄せられました。



広報委員長
林 孝拓

会のあとに

堀場会長のご講演では、経営における本質的な力とは何かを考えさせられました。ユニークでとがったアイデアを持ち、自らの足で情報を取りに行く姿勢の大切さに強く共感しました。また、経営者に求められるのは、五分五分の状況で決断できる判断力と覚悟であること、人を活かすには、育成と配置が欠かせないという言葉が印象に残りました。人を人財として信じ、成長の機会を用意することが、組織を動かす原動力になると感じました。これらの学びは、本年度の基本方針【今こそ「人が活きる」日本型経営を磨いていこう！】に深くつながるものでした。

【青年経営者部会 今後の予定】

12月例会・忘年会 日時：令和7年12月4日(木)

場所：ぎふ長良川温泉 ホテルパーク 集合：17時50分 受付：17時30分

令和7年11月吉日発行 編集：(一社)岐阜県経営者協会 青年経営者部会 広報委員会
編集責任者/林 孝拓 編集部/市橋 拓、河村 岳明、宮川 裕一